

主な補助要件（補助対象メニュー毎に別途要件があります）

- ・二酸化炭素の削減効果があること
- ・ワーキンググループに登録している事業者が発注すること（ZEB化に関する発注は一部例外あり）
- ・申請者自身が設備を所有すること（リース契約等は対象外）
- ・補助対象施設の電力をCO2実質ゼロの「再エネ電力メニュー」へ切り替えること



省エネ事業者



再エネ事業者

再エネ電力メニューへの切り替えのご相談については、環境保全課までお問い合わせください。

CO2実質ゼロの「再エネ電力メニュー」とは

太陽光、風力、水力といった自然エネルギーで作られた電気や非化石証書を活用した、CO2実質ゼロの電力プランです。携帯電話の料金プランを変更するのと同じように、各電力会社が用意している再エネ専用の料金プランを選ぶだけで切り替えが可能です。

再エネ電力メニューへの切り替えについてのポイント

- 特別な工事は不要です：電線などの設備は今までと同じものを使います。建物の電気工事を新たに行う必要はありません。
- 今の電力会社を継続できる場合があります：現在契約している電力会社が「再エネ電力メニュー」を提供していれば、プラン変更の手続きだけで完了します。（提供がない場合は、別の電力会社への乗り換えが必要です。）

補助金申請のイメージ

4月or5月予定

締切：11月下旬

締切：2月中旬

申請受付開始

交付申請

交付決定

工事着手

実績報告

補助金交付

契約・着工前に申請

審査・決定通知

契約・施行

完了後報告書提出

請求・支払

注意事項

- ・原則として「交付決定後」に工事契約・工事着手が必要です。
- ・年度内に終了しなかった場合の繰越手続きなど、工期が2か年に渡る際の複数年工事も申請により可能です。
- ・予算の範囲内において交付しますので、予定より早く補助金申請を締め切る場合があります。

宮崎市脱炭素先行地域づくり事業

建物の省エネ改修等に 補助金を交付します



宮崎市は、令和7年5月に環境省の「脱炭素先行地域」に選定されたことを受け、対象地域において、建物の省エネ改修等の補助を実施し、まちなかにおける脱炭素化と賑わい創出を推進していきます！

脱炭素先行地域とは・・・

2030年度までに脱炭素を実現することを目指して環境省から選ばれたモデル地域のことです。対象地域内のオフィス、商業施設、家庭などで使われる「電気」から出るCO2排出量の実質ゼロを目指します。

対象地域



補助率・補助対象メニュー

省エネ
再エネ

補助対象経費の2/3以内

- ・照明のLED化、空調機器の更新、太陽光発電設備の導入費用
- ・新築及び既存建物のZEB化

ZEB
可能性
調査

補助対象経費の10/10以内

- ・ZEB化の可能性を調査するための費用

対象者

- ・対象地域内に所在する施設等の所有者
- ・対象地域内に所在する施設等を賃借又は使用する者（テナント事業者など）

補助期間

令和8年度から令和12年度



MIYAZAKI CITY

省エネ設備導入補助事業

環境負荷軽減

設備の長寿命化

ランニングコスト削減

快適性向上

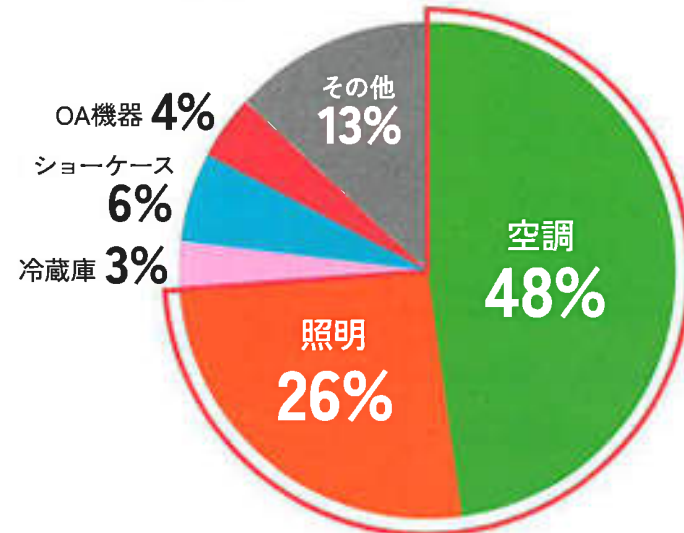
補助対象事業



補助率

2/3以内

一般的なオフィスビルにおける用途別電力消費率



出典:資源エネルギー庁推計

高効率照明の補助要件

調光制御機能が必須

スケジュール制御、明るさセンサー、人感センサーのいずれかを有するLEDであること。

エネルギー消費効率基準

昼白色等は100lm/W以上、電球色等は50lm/W以上の固有エネルギー消費効率を満たすこと。

高効率空調の補助要件

省CO2効果

従来の空調機器等に対して、省CO2効果が得られるもの。

LED照明器具・照明制御

LED照明器具、各種制御機器

「センサ」を組み合わせて、照明を自動でコントロール。無駄な電力消費をカット。

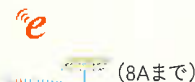


センサによる自動ON/OFFで無駄な点灯を防止

熱線センサ付自動スイッチ「微動検知形」



熱線センサ発信器は電池式だから配線工事不要!



熱線センサ発信器(電池式) 埋込受信器(8Aタイプ)

信号線工事のいらない無線方式でかんたん調光

スマートフォンで各種設定が簡単に行えます



照明器具1台ごとに色温度と明るさをコントロール



空調・換気システム

パッケージエアコン

高APFで優れた省エネ性能と快適な空気環境を両立。



オフィス・店舗用エアコン

EHP(電気式)・GHP(ガス式)

OK

高効率照明

サンプル 器具台数100台 蛍光灯器具FLR40W×2灯→調光機能付きLED器具

省エネ効果

消費電力量

62%削減

消費電力量 15,810kWh/年 削減

ランニングコスト

67%削減

電気代 ¥442,580円/年 削減

ランプ代 ¥95,000円/年 削減

TOTAL

¥538,680 円/年 削減!!

電気料金単価 28円/kWh

CO2削減効果

削減CO2量

62%削減

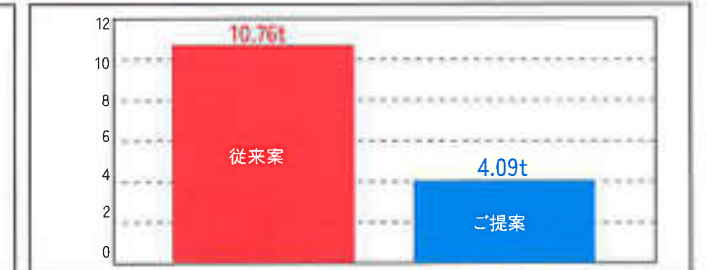
消費CO2量 6.67t/年 削減

CO2排出係数 0.422 kg-CO2/kWh

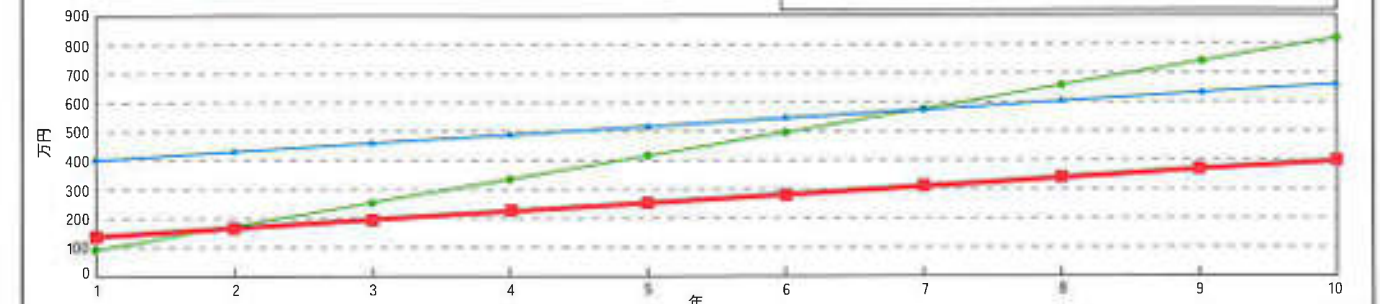
年間消費電力量



年間CO2消費量



ライフサイクルコストシミュレーション



ZEB 化改修の補助事業

「そのビル、これからのスタンダードへ。」

ZEB化で、選ばれる建物に。既存ビルの「ZEB可能性調査」しませんか？

ZEB可能性調査費10/10以内補助

エネルギーをつくる

再生可能エネルギーの活用

太陽光発電



エネルギーを賢く使う

エネルギー使用の最適化・低減化

EMS

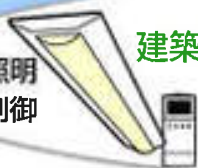
エネルギー管理システム



エネルギーをへらす

建築構造や設備のエネルギー消費量の削減

LED照明
・制御



高断熱化



空調・換気
システム



■ZEBのメリット

- ・光熱費を大幅削減！
- ・不動産価値が向上！
- ・BCP対策を強化！
- ・CSR(社会的責任)をアピール！
- ・快適なオフィス空間を提供！

ランニングコストを劇的に抑え、収益性が向上します。
環境配慮型ビルとして差別化し、資産価値と競争力を高めます。
災害時にも事業継続可能な、レジリエンス性の高いビルへ。
環境経営で企業イメージとブランド力を向上させます。
従業員や入居者・利用者・テナントの満足度を高めます。

■ZEB化改修の流れ 年間40～50%の光熱費を削減することも可能です

- ① ZEB難易度調査(基本項目による簡易診断)
- ② ZEB可能性調査(図面を用いた省エネ計算)
- ③ 詳細計画検討、設備機器・工事見積
- ④ 補助制度の活用、第三者認証(BELS)申請
- ⑤ 改修工事、運用開始

室内環境の質を維持・向上しつつ、
光熱費を削減できます。
一般的な事務所ビルにおける
一次エネルギー消費量は、
空調に起因するものが全体の約50%、
照明に起因するものが全体の約30%、
これらの削減が重要となります。



■補助対象となる省エネ機器

■ 高効率LED照明器具、各種制御機器

「センサ」や「制御」を組み合わせ、照明を自動でコントロール。無駄な電力消費をカット。



LEDベースライト

照明制御セルコン

人感センサ付自動スイッチ

無線調光システム

■ 太陽光発電

限られたスペースをムダなく活用したつっぱり発電。



太陽電池モジュール

■ 高効率空調

高COPで、優れた省エネ性能と快適な空気環境を両立。



■ 高効率換気 ※本項目のみ、補助メニューが異なります



熱交換気ユニット

DCモータータイプ換気扇

高効率空調

10年前の機種との比較(サンプル)

省エネ計算結果

〈試算条件〉

所在地: 宮崎 空調時間 : 8時~19時
建物用途: 事務所 冷房負荷 : 10.0kw(設計外気温34.5℃)
冷房期間: 5月 1日 ~ 暖房負荷 : 5.5kw(設計外気温1℃)
10月31日 設定温度 : 冷房26℃・暖房22℃
暖房期間: 12月 1日 ~ 電力会社/: 九州電力/
2月28日 契約種別 業務用電力6kv
運転日数: 5日/週

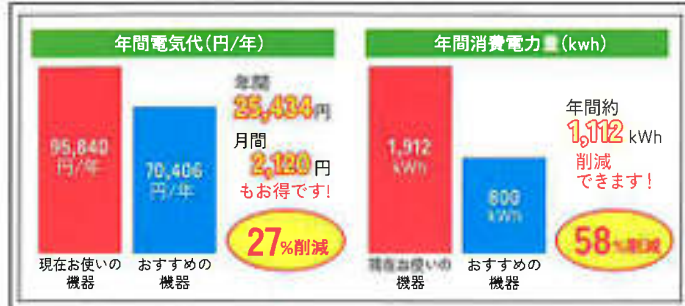
15年前の機種との比較(サンプル)

省エネ計算結果

〈試算条件〉

所在地: 宮崎 空調時間 : 8時~19時
建物用途: 事務所 冷房負荷 : 10.0kw(設計外気温34.5℃)
冷房期間: 5月 1日 ~ 暖房負荷 : 5.5kw(設計外気温1℃)
10月31日 設定温度 : 冷房26℃・暖房22℃
暖房期間: 12月 1日 ~ 電力会社/: 九州電力/
2月28日 契約種別 業務用電力6kv
運転日数: 5日/週

〈試算結果〉



〈試算結果〉



ガス空調をご利用の場合は、年間ガス代、年間ガス消費量の削減が期待できます。

太陽光発電設備の導入補助事業

補助率 **2/3以内**

主な補助要件

国のFIT、FIP制度(固定価格買取制度)の認定は取得せず、発電した電気のうち、一般家庭は30%以上、業務用は50%以上を自家消費すること。

詳細は市ホームページでご確認いただけます

- ・補助対象経費、補助要件の詳細確認
- ・補助金申請書類一式
- ・ワーキンググループ登録事業者の確認
- ・再エネ電力メニュー提供電力会社の確認
- ・ZEB可能性調査に関する事など



HP

【問い合わせ先】

宮崎市 環境部 環境保全課 ゼロカーボン推進室

TEL:0985-21-1763

e-mail:09hozen@city.miyazaki.miyazaki.jp

